

別紙様式9

九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：令和6年10月4日)

開催日及び場所		令和6年9月19日（木曜日） 熊本地方合同庁舎 A棟10階 農政第7会議室
委員		福西 武夫（弁護士） 小野 由起子（ジャーナリスト）
審議対象期間		令和6年4月1日～令和6年6月30日
審議対象案件		234件 うち、1者応札案件37件 契約の相手方が公益法人等の案件2件
抽出案件		7件 うち、1者応札案件4件 (抽出率3.0%) (抽出率10.8%) 契約の相手方が公益法人等の案件1件 (抽出率5.0%)
抽出案件内訳	工事	一般競争 2件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
	指名競争	公募型指名競争 0件
	指名競争	工事希望型競争 0件
	指名競争	その他の指名競争 0件
	随意契約	随意契約 1件
業務	一般競争	一般競争 1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
	指名競争	公募型競争 0件
	指名競争	簡易公募型競争 0件
	指名競争	その他の指名競争 0件
	随意契約	公募型プロポーザル 0件
	随意契約	簡易公募型プロポーザル 1件
	随意契約	標準型プロポーザル 0件
物品・役務等	一般競争	一般競争 2件 うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益法人等の案件1件
	指名競争	指名競争 0件
	随意契約	随意契約（企画競争・公募） 0件
	随意契約	随意契約（その他） 0件
(特記事項)		

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答等
	1. 令和6年度第1四半期入札方式別発注状況について	
	意見・質問なし	
	2. 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契約について	
	(1) 抽出工事	
	①令和6年度防災情報ネットワーク事業肝属中部地区データ転送機器製作据付工事	
	1者応札となった原因は何か。	入札説明書をダウンロードした受注業者以外の者に聞き取ったところ、本工事が既に設置されているダム管理システムから必要なデータを抽出し転送する工事で、既設システムの改造・調整が必要となるため、当初設置した者と既設システムの設定等の内容確認や機器の調整等に時間を要することから参加しなかったという意見であった。
	落札した業者は既存の施設を導入した業者か。	然り。
	落札率がかなり高いが理由は何か。	積算に関する単価、歩掛等については、公表しており、精度の高い積算を行うことができたためと考える。
	②令和6年度八代平野農業水利事業遙拝頭首工応急対策工事	
	本工事では、資機材の対応を行ったということだが、その他の工事は他者が対応したということか。	
	関連する工事も随意契約とのことだが、それぞれの工事をどの業者が実施するのか割り振りをしたのかそれとも全体を示したうえで会社に選ばせたのか。	然り。
		本工事については資材の手配を行うものであり、結果的には一連の工事を7つに分けて発注している。

	<p>工事規模が大きく、農繁期の対応であつたため緊急随契になつたと思われるが、そもそも当初の工事の基準設定についてどのように考えているか。</p>	<p>る特性があり、経験が少ない中での対応となつた。</p> <p>過去の降雨データから一定の基準を用いて締切矢板の規模等を設定しているが、今回は想定外の雨量により対応が必要になつた。今後は今回の降雨を踏まえるとともに施工時期も見直していく予定である。</p>
	<p>③令和 5 年度宇城農地整備事業浅川工区区画整理 (その 4) 工事 (第 3 回変更)</p> <p>変更を 3 回にわたって行つてゐるが、資材の納入遅延の理由は何か。</p>	<p>ロシアのウクライナ侵攻等、様々な情勢による原材料等の品不足により、資材の納品が遅れたと考える。</p>
	<p>(2) 抽出業務</p> <p>①令和 6 年度工事資材価格実態調査業務</p> <p>令和 3 年度から 1 者応札なのか。</p> <p>他の業者は入ることが難しいのか。</p> <p>予定価格を決めるにあたり何者に依頼しているのか。</p>	<p>令和 2 年度から 1 者応札である。</p> <p>他にも同様の業務を行つてゐる業者もいるが、調査件数も多く入札に参加されない状態となつてゐる。</p> <p>3 者に見積を依頼しているところだが、落札業者以外の 2 者については、見積を辞退された。</p>
	<p>②令和 6 年度喜界島農業水利事業喜界第 2 地下ダム技術検討他業務</p> <p>前歴事業について説明を受けたが現在実施している事業の受益には前歴事業分も含んでゐるのか。</p> <p>予定価格の算定はどのように行つてゐるのか。</p> <p>地下ダムの設計が技術的に専門的な知識が必要とのことで簡易型プロポーザル方式での入札となつてゐると理解するが、そうなると一度請け負つた業者が継続的に携わっていくことになるのか。</p>	<p>然り。</p> <p>本事業では前歴事業の用水改良や施設の改修を行つており、前歴事業の受益地が含まれる。</p> <p>複数の業者から参考歩掛を徴収し、予定価格を算定している。</p> <p>地下ダムに関する業務の受注実績者数は 7 者あり、他の業者も参入可能であると考える。また前歴事業では他者が請け負つた実績もある。</p> <p>今回業務の公募要件としては、地下ダムでなく農業用ダムの実績を有する者としており、より多くの者が参加可</p>

		能な業務と考えている。
	<p>(3) 抽出物品・役務等</p> <p>①令和6年度宮崎県拠点外一般定期健康診断等業務（単価契約）</p> <p>改善策を講じた結果1者応札となってい るが、今後も1者応札になるのか。</p> <p>落札業者が公益財団法人であるが、どの ような団体か。</p> <p>事業者4業者にアンケート調査をしたと のことだが、4者の選定基準は何か。</p> <p>アンケートを行う事業者を増やすこと はできないのか。</p>	<p>今後も多くの業者が参入できるよう 検討してまいりたい。</p> <p>宮崎県の団体となる。主に健康診断 の業務を実施している。</p> <p>過去の参加者及び宮崎県内の有資格 者から4者を選定した。</p> <p>近県の健康診断についても1者しか 参加者がおらず、難しいと考える。</p>
	<p>②令和6年度水質観測施設保守点検業務</p> <p>保守点検業務を発注する頻度はどの程度 で、過去にも同じ業者と契約しているのか。</p> <p>他者が参加できるような工夫はないか。</p>	<p>毎年度1回、同様の業務を発注して おり、近年は同じ業者と契約してい る。</p> <p>参加資格要件に当該業務対象等級の 上位と下位の等級を加え、また、公告 開始日を早めるなどの対応を行ってい る。引き続き多くの業者が参加できる よう、検討してまいりたい。</p>
	<p>3. 再度入札における一位不動状況について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	<p>4. 指名停止について</p> <p>意見・質問なし。</p>	
	無し	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		無し

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1)必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所用の変更を加えることができる。

(注2)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に關する法律及び公益社団法人又は公益財団法人の認定等に關する法律の施行に伴う關係法律の整備等に關する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。